

## 10. 資格課程及び各種資格

本学では、国家資格を取得するための課程として「教職課程」と「学芸員課程」を設置していますが、これ以外にも、指定された科目を履修することにより取得できる資格や、受験資格を得られる資格があります。それぞれの資格によって、取得に必要な科目・単位数が異なりますので、計画的に、十分に注意をして必要な単位を修得してください。はじめからたくさんの資格を取得しようとせず、まず目標資格を1つにしぼり、自分の単位修得状況によって複数の資格取得を考えていくのも一つの方法です。

### 1. 教 職 課 程

#### (1) 教職課程とは

教職課程とは、「教育職員免許法」に基づいて文部科学省の認可を受け、中学校・高等学校の教員になるための教育職員免許状（教員免許状）を取得するために設置された課程です。教職課程の履修を希望する者には、教員としての適性、教職関係科目を理解する能力、将来教職に就きたいとする強い意志が要求されるので、いい加減な気持ちで教職課程を履修することのないよう注意してください。

#### (2) 取得できる教員免許状

学 科	免許状の種類・教科	
	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
総合文化学科	英 語	英 語
	国 語	国 語
	社 会	公 民

#### (3) 履修要件

本学で教員免許状を取得するために必要な最低単位数等は、以下の通りです。

免許状の種類	① 基礎資格	② 教科に関する科目	③ 教職に関する科目	④ 教科又は教職に関する科目	合 計
中学（一種）	学士の学位を有すること	20 単位	31 単位	8 単位	59 単位
高校（一種）		20 単位	27 単位	16 単位	63 単位

- ① 基礎資格を得るために、大学を卒業することが最優先となります。
- ② 取得予定の免許教科について、専門的な力量を身に付けるための科目 別表1
- ③ 教員になるための、基本的な資質や実践的な能力を身に付けるための科目 別表2
- ④ 主として、②と③の最低単位の超過分の単位を充当する。

(注1) 上記の他、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の修得が必要 別表3

暮らしのなかの憲法、スポーツ実技Ⅰ・Ⅱ、外国語(1科目)、情報機器の操作Ⅰ・Ⅱ

(注2) 中学（一種）の免許状を取得する場合には、「介護等の体験」が義務付けられており、省令で定められている施設で7日間の介護等の体験が必要。

(4) 教職課程を履修するうえでの注意

教員免許状の取得には、1年次から計画的に履修していくことが必要ですが、本学では、1年次から「教職課程」への導入科目を共通科目として設置しています。1年間、十分に時間をかけて担当教員とも相談をして、自分の適性を判断することも出来ます。正式な教職課程の履修申込みは2年次に受け付けますが、これらの導入科目は卒業要件単位としても認められるので、履修に迷っている学生も積極的に受講してください。(2年次に「教職課程登録費」として20,000円、教育実習に参加する年度に「教育実習登録費」として10,000円が必要になります。)

\* 導入科目 = 「学校と教育の歴史」「心身の発達と学習過程」「学校の制度」の3科目

(注1) 「介護等の体験」(別途体験費が必要)を行う学生は、導入科目3科目の単位が修得済みであることが条件になります。

(注2) 「教育実習」は、原則として4年次で実施します。次の①・②の条件を満たしている学生が対象となります。

① 3年次までに卒業要件単位を100単位以上修得していること。

② 原則として、「教科教育法Ⅰ・Ⅱ」及び「教科教育研究A・B」の履修者で、かつ「教職論」、「学校と教育の歴史」、「心身の発達と学習過程」、「学校の制度」、「教育課程論」、「教育方法論」、「生徒指導論(進路指導論を含む)」、「暮らしのなかの憲法」の単位がすべて修得済みであること。

**別表1 「教科に関する科目」**

\* 卒業要件単位に算入されます。

**総合文化学科**

免許状種類	免許法に定める科目区分	授業科目	開講年次	単位	最低修得単位数
中一種免 (英語)	英語学	○言語と文化	1・2・3・4	2	20以上
		○英語学概論	2・3・4	2	
		○英文法	2・3・4	2	
		英語の歴史	2・3・4	2	
		英語学研究	3・4	2	
高一種免 (英語)	英米文学	○イギリスの文学A	1・2・3・4	2	
		○イギリスの文学B	1・2・3・4	2	
		○イギリスの文学C	2・3・4	2	
		○イギリスの文学D	2・3・4	2	
		イギリス文学研究	3・4	2	
		○アメリカの文学A	2・3・4	2	
		○アメリカの文学B	2・3・4	2	
		アメリカ文学研究	3・4	2	
英語コミュニケーション	○英語コミュニケーションA	2・3・4	2		
	○英語コミュニケーションB	2・3・4	2		
	○英語演習AⅠ	2・3・4	1		
	○英語演習AⅡ	2・3・4	1		
	○英語演習BⅠ	3・4	1		
	○英語演習BⅡ	3・4	1		
異文化理解	○ヨーロッパの生活と文化A	1・2・3・4	2		
	○ヨーロッパの生活と文化B	1・2・3・4	2		
	○イギリスの生活と文化	1・2・3・4	2		
	○アメリカの生活と文化	1・2・3・4	2		

注) 1 ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

2 最低修得単位数を超えて修得した単位は、「教科又は教職に関する科目」の単位に計上する。

免許状種類	免許法に定める科目区分	授業科目	開講年次	単位	最低修得単位数
中一種免 (国語)  高一種免 (国語)	国語学 (音声言語及び文章表現に 関するものを含む。)	○日本語の表現	2・3・4	2	20以上
		日本語の文法	2・3・4	2	
		日本語のレトリックA	2・3・4	2	
		日本語のレトリックB	2・3・4	2	
		○日本語文章法Ⅰ	2・3・4	2	
		○日本語文章法Ⅱ	2・3・4	2	
	国文学 (国文学史を含む。)	○日本古典文学史Ⅰ	1・2・3・4	2	
		○日本古典文学史Ⅱ	1・2・3・4	2	
		○日本近代文学史Ⅰ	1・2・3・4	2	
		○日本近代文学史Ⅱ	1・2・3・4	2	
		○日本の古典文学A	2・3・4	2	
		○日本の古典文学B	2・3・4	2	
		○日本の近代文学A	2・3・4	2	
		○日本の近代文学B	2・3・4	2	
		日本文学研究A	3・4	2	
		日本文学研究B	3・4	2	
	漢文学	中国の文学A	2・3・4	2	
		中国の文学B	2・3・4	2	
		○漢文学Ⅰ	2・3・4	2	
○漢文学Ⅱ		2・3・4	2		
書道(書写を中心とする。)	○書道	1・2・3・4	2		

注) 1 ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

2 最低修得単位数を超えて修得した単位は、「教科又は教職に関する科目」の単位に計上する。

3 「書道」は、中一種免取得希望者のみ必修。

免許状種類	免許法に定める科目区分	授業科目	開講年次	単位	最低修得単位数
中一種免 (社会)	日本史及び外国史	○外国史	1・2・3・4	2	20以上
		○日本史	1・2・3・4	2	
		地域の文化史A	1・2	2	
		地域の文化史B	1・2	2	
		日本文化史Ⅰ	2・3・4	2	
		日本文化史Ⅱ	2・3・4	2	
		東アジア交渉史	2・3・4	2	
	地理学(地誌を含む。)	○地理学(地誌を含む)	1・2・3・4	2	
	「法律学、政治学」	○法律学(国際法を含む)	1・2・3・4	2	
		○政治学(国際政治を含む)	1・2・3・4	2	
		現代の行政	2・3・4	2	
		民法Ⅰ	2・3・4	2	
		民法Ⅱ	2・3・4	2	
		ジェンダーと法制	1・2	2	
		商法	2・3・4	2	
		ビジネス実務法規	3・4	2	
	「社会学、経済学」	○社会学	1・2・3・4	2	
		文化人類学	1・2・3・4	2	
		歴史社会学	2・3・4	2	
		○教育社会学	1・2・3・4	2	
現代社会とジェンダー		1・2・3・4	2		
社会調査法Ⅰ		2・3・4	2		
社会調査法Ⅱ		2・3・4	2		
「哲学、倫理学、宗教学」	○哲学	1・2・3・4	2		
	○倫理学	1・2・3・4	2		
	○宗教学	1・2・3・4	2		
	宗教人類学	1・2・3・4	2		

注) 1 ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

2 最低修得単位数を超えて修得した単位は、「教科又は教職に関する科目」の単位に計上する。

3 「商法」、「ビジネス実務法規」は総合経営学科の開設科目。

免許状種類	免許法に定める科目区分	授業科目	開講年次	単位	最低修得単位数
高一種免 (公民)	「法律学 (国際法を含む。)、 政治学 (国際政治を含む。)」	○法律学(国際法を含む)	1・2・3・4	2	20以上
		○政治学(国際政治を含む)	1・2・3・4	2	
		現代の行政	2・3・4	2	
		民法Ⅰ	2・3・4	2	
		民法Ⅱ	2・3・4	2	
		ジェンダーと法制	1・2	2	
		商法	2・3・4	2	
	ビジネス実務法規	3・4	2		
	「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	○社会学	1・2・3・4	2	
		文化人類学	1・2・3・4	2	
		歴史社会学	2・3・4	2	
		○教育社会学	1・2・3・4	2	
		現代社会とジェンダー	1・2・3・4	2	
		社会調査法Ⅰ	2・3・4	2	
		社会調査法Ⅱ	2・3・4	2	
	「哲学、倫理学、宗教学、 心理学」	○哲学	1・2・3・4	2	
		○倫理学	1・2・3・4	2	
		○宗教学	1・2・3・4	2	
		宗教人類学	1・2・3・4	2	

注) 1 ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

2 最低修得単位数を超えて修得した単位は、「教科又は教職に関する科目」の単位に計上する。

3 「商法」、「ビジネス実務法規」は総合経営学科の開設科目。

別表2 「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」

\* (☆) 印の4科目以外は、卒業要件単位に算入されません。

免許状種類	免許法に定める科目区分	授業科目	開講年次	単位	最低修得単位数
各教科 共通	教職の意義等に関する科目	○教職論	1・2	2	中一種免 (英語) (国語) (社会)
	教育の基礎理論に関する科目	○学校と教育の歴史(☆)	1・2	2	
○心身の発達と学習過程(☆)		1・2	2		
○学校の制度(☆)		1・2	2		
教職に関する科目	教育課程及び指導法に関する科目  ※該当教科の教育法を履修。中免、高免とも4単位以上を選択必修とする。	○教育課程論	1・2	2	31以上
		※ 英語科教育法Ⅰ	2・3・4	2	
		※ 英語科教育法Ⅱ	2・3・4	2	
		※ 英語科教育研究A	2・3・4	2	高一種免 (英語) (国語) (公民)
		※ 英語科教育研究B	2・3・4	2	
		※ 国語科教育法Ⅰ	2・3・4	2	
		※ 国語科教育法Ⅱ	2・3・4	2	
		※ 国語科教育研究A	2・3・4	2	27以上
		※ 国語科教育研究B	2・3・4	2	
		※ 社会科・公民科教育法Ⅰ	2・3・4	2	
		※ 社会科・公民科教育法Ⅱ	2・3・4	2	
		※ 社会科・公民科教育研究A	2・3・4	2	中一種免のみ
		※ 社会科・公民科教育研究B	2・3・4	2	
		○道徳教育の理論と方法	2・3・4	2	
		○特別活動の理論と方法	2・3・4	2	
	○教育方法論	2・3・4	2		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	○生徒指導論(進路指導論を含む)	2・3・4	2		
	○教育相談	2・3・4	2		
総合演習 ㊦2009年度入学者のみ履修	○総合演習(☆)	2・3・4	2		
教育実習	○教育実習Ⅰ(事前事後指導を含む)	3・4	5	中一種免 高一種免	
	○教育実習Ⅱ(事前事後指導を含む)	3・4	3		
教職実践演習 ㊦2010年度以降入学者が履修	○教職実践演習(中・高)	4	2		
教科又は教職に関する科目	教育課程及び指導法に関する科目	道徳教育の理論と方法	2・3・4	2	

注) 1 ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

2 教職に関する科目の最低修得単位数を超えて修得した単位は、「教科又は教職に関する科目」の単位に計上する。

3 高一種免のみ取得する場合、「道徳教育の理論と方法」は「教科又は教職に関する科目」とする。

**別表3** 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（8単位）

\*卒業要件単位に算入されます。

（各教科共通）

免許法に定める科目区分	授業科目	開講年次	単位	最低修得単位数
日本国憲法	暮らしのなかの憲法	1・2	2	2
体育	スポーツ実技Ⅰ	1・2	1	1
	スポーツ実技Ⅱ	1・2	1	1
外国語コミュニケーション	英語AⅠ	1	2	*4科目より 1科目選択必修
	ドイツ語AⅠ	1	2	
	フランス語AⅠ	1	2	
	中国語AⅠ	1	2	
情報機器の操作	情報機器の操作Ⅰ	1	1	1
	情報機器の操作Ⅱ	1	1	1

## 2. 学 芸 員 課 程

### (1) 学芸員課程とは

学芸員課程とは、「博物館法」に基づいて、学芸員の資格取得に必要な単位を修得させるために設置された課程です。この資格を取得するには、文部科学省が実施する試験に合格するという方法もありますが、大学の学芸員課程を履修して取得する方法が一般的です。本学では、総合文化学科の正規の授業を受講しながら、同時に学芸員課程として規定されている単位を修得すれば、学芸員の資格が取得出来ます。

また、他学科の学生でも、リベラルアーツ学部の特色である「クロスオーバー履修制度」を活用すれば、必修科目・選択科目すべての単位が自分の所属する学科の卒業要件単位として認められるので、どの学科からでも「学芸員資格」の取得が可能です。

### (2) 学芸員資格について

「博物館法」（第5条第1項）には、「学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したものは、学芸員となる資格を有すると定められています。この規程に基づいて、所定の授業科目を履修しその単位を修得した者に対して、本学では卒業の際に「学芸員資格単位修得証明書」を発行します。

### (3) 学芸員課程を履修するうえでの注意

学芸員の資格取得に必要な授業科目（必修・選択とも）は、総合文化学科の専門科目のほかに各学科の共通科目としてもいくつか設置して、1年次から開講しています。1年間、十分に時間をかけて担当教員と相談をして、自分の適性を判断することも出来ます。正式な学芸員課程の履修申込みは2年次に受け付けますが、これらの科目は卒業要件単位としても認められるので、履修に迷っている学生も積極的に受講してください。（2年次に「学芸員課程登録費」として10,000円が必要になります。また、「博物館実習」に参加する年度には、別途「博物館実習登録費」として10,000円が必要になります。）

\*学芸員課程の1年次開講必修科目＝「博物館概論」「視聴覚メディアと教育」「学校と教育の歴史」

（注）「博物館実習」の受講にあたっては、「博物館概論」をはじめ、博物館各論等の関係科目を履修した者で、その成績が一定水準に達していることが条件になります。

(4) 学芸員資格取得の要件

学芸員資格の取得には、必修科目15単位、選択科目2以上の分野にわたって8単位合計23単位以上を修得することが必要です。

学芸員資格取得のために必要となる授業科目と最低修得単位数

\* 卒業要件単位に算入されます。

必・選	本学における開設授業科目				資格要件 単位数	
	授業科目名	開講年次	単位	開設学科		
必修科目	生涯学習論	2・3・4	2	総合文化学科	15単位	
	博物館概論	1・2・3・4	2	共通科目		
	博物館経営・情報論	2・3・4	2	共通科目		
	博物館資料論	2・3・4	2	共通科目		
	博物館実習	3・4	3	総合文化学科		
	視聴覚メディアと教育	1・2・3・4	2	共通科目		
	学校と教育の歴史	1・2・3・4	2	共通科目		
選択科目	文化史	地域の文化史A	1・2・3・4	2	共通科目	2以上の分野で 8単位以上
		地域の文化史B	1・2・3・4	2	共通科目	
		外国史	1・2・3・4	2	総合文化学科	
		日本史	1・2・3・4	2	総合文化学科	
		日本文化史Ⅰ	2・3・4	2	総合文化学科	
		日本文化史Ⅱ	2・3・4	2	総合文化学科	
	美術史	東洋美術史Ⅰ	2・3・4	2	総合文化学科	
		東洋美術史Ⅱ	2・3・4	2	総合文化学科	
		日本美術史Ⅰ	2・3・4	2	総合文化学科	
		日本美術史Ⅱ	2・3・4	2	総合文化学科	
		西洋美術史Ⅰ	2・3・4	2	総合文化学科	
		西洋美術史Ⅱ	2・3・4	2	総合文化学科	
	民俗学	文化人類学	1・2・3・4	2	総合文化学科	
		文化資源論	1・2・3・4	2	総合文化学科	
		宗教学	1・2・3・4	2	総合文化学科	
		宗教人類学	1・2・3・4	2	総合文化学科	

### 3. 指定科目を履修することによって取得できる各種資格等

\*卒業要件単位に算入されます。

#### (1) 各種資格等の種類

	名 称	資格取得が可能な 主たる学科	認 定 先
①	認 定 心 理 士	人間心理学科	社団法人 日本心理学会
②	カウンセリング実務士		全国大学実務教育協会
③	上 級 秘 書 士	総合経営学科	全国大学実務教育協会
④	秘 書 士		
⑤	上 級 情 報 処 理 士		
⑥	情 報 処 理 士		

#### (2) 各種資格の申請方法

①認 定 心 理 士 — 卒業後、個人による直接申請。（詳細は別表参照）

②から⑥までの資格 — 大学からの一括申請。

\*卒業見込年度に学内受付期間を設けます。詳細は該当時期に、掲示。

#### (3) 各種資格の履修要件（取得に必要な科目・単位数）

それぞれの資格ごとに履修要件が異なります。十分に注意して履修登録を行ってください。

①認定心理士 日本心理学会が認定する資格で、心理学専門家としての基礎資格です。その取得のメリットは、大学で心理学を修めたことが、広く社会的に証明されること。あくまでも基礎資格であり、大学院や実践現場などでさらに研鑽を積む必要があります。

・必修科目15単位、選択科目各群の必要単位、かつ選択科目各群の合計24単位以上。

【必修科目】 15単位					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	心理学概論	2		教育心理学	2
	心理学研究法 A	2		心理学研究法 B	2
	心理統計学基礎 I	2		心理統計学基礎 II	2
	心理学基礎実験	3			

【選択科目 I 群】 4単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	知覚心理学	2		認知心理学	2
	感情心理学	2			
【選択科目 II 群】 4単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	発達心理学	2		青年心理学	2
	学校心理学	2			
【選択科目 III 群】 4単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	臨床心理学	2		人格心理学	2
	健康心理学	2		精神分析学	2
	心理療法	2		認知行動療法	2
	犯罪非行心理学	2			
【選択科目 IV 群】 4単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	社会心理学	2		家族心理学	2
	コミュニティ心理学	2			

- ① 申請方法 — 原則として、卒業後、個人による直接申請。
- ② 申請先 — 社団法人 日本心理学会 認定心理士認定委員会  
<http://www.psych.or.jp/>
- ③ 申請費用 — 審査料 10,000 円、認定料 30,000 円
- ④ 必要書類 — 資格認定申請書、履歴書、修得単位表、卒業証明書 他
- ⑤ 仮認定証 — 卒業見込年度に取得可能な仮認定証交付制度もあります。

\*その他、詳細は、直接申請先に問い合わせてください。

②カウンセリング実務士 ストレス社会のよきアドバイザーとしての資質を有する人材育成を目的に、カウンセリングの現場で、心のケアを行うために必要な知識と技能を証明する資格です。

・必修科目13単位、選択科目20単位以上。（申請費用：7,000円）

【必修科目】 13単位					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	心理相談	2		認知行動療法	2
	心理相談基礎実習Ⅰ	2		心理相談基礎実習Ⅱ	2
	臨床心理実地実習	5			

【選択科目】 20単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	心身の発達と学習過程	2		心理学概論	2
	教育心理学	2		臨床心理学	2
	発達心理学	2		青年心理学	2
	社会心理学	2		人格心理学	2
	感情心理学	2		臨床心理実務倫理	2
	心理療法	2		学校心理学	2
	犯罪非行心理学	2		職場メンタルヘルス	2
	臨床ケース研究	2		精神医学	2
	精神保健学 A	2			

**注 意**

カウンセリング実務士の資格取得には、上記の必要取得単位にあわせて資格取得のための必修科目である「心理相談基礎実習Ⅰ」と「心理相談基礎実習Ⅱ」は「B」評価以上、「臨床心理実地実習」は「A」評価を得ることが必要です。

また、本学を卒業することが条件ですので、申請にあたっては学内申請書の他に「卒業見込証明書」が必要となります。

③上級秘書士 一般的な知識、技能、マナーに加え、実社会で円滑に業務を遂行するために重要な科目を履修していることが求められます。

・必修科目 8 単位、選択科目各群の必要単位、かつ選択科目各群の合計 32 単位以上。(申請費用：7,000 円)

【必修科目】 8 単位					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	秘書学概論	2		国際秘書学	2
	国際秘書演習Ⅰ	1		国際秘書演習Ⅱ	1
	秘書実務Ⅰ	1		秘書実務Ⅱ	1

【選択科目Ⅰ群】「秘書実務」関連分野 16 単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	基本簿記論Ⅰ	2		基本簿記論Ⅱ	2
	商法	2		ビジネス実務法規	2
	情報システム演習Ⅰ	2		情報システム演習Ⅱ	2
	情報処理演習Ⅰ	2		情報処理演習Ⅱ	2
	コミュニケーション論Ⅰ	2		プレゼンテーションⅠ	2
	プレゼンテーションⅡ	2		ビジネス文書Ⅰ	2
	ビジネス文書Ⅱ	2		英文文書処理Ⅰ	1
	英文文書処理Ⅱ	1		インターンシップ	2
	日本語文章法Ⅰ	2		日本語文章法Ⅱ	2
【選択科目Ⅱ群】「人間行動・情報」関連分野 4 単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	組織心理学Ⅰ	2		組織心理学Ⅱ	2
	情報処理概論	2		情報倫理 A	2
	情報システム論Ⅰ	2		情報システム論Ⅱ	2
	心理学概論	2		社会心理学	2
	人格心理学	2		感情心理学	2
	健康心理学	2		コミュニティ心理学	2

【選択科目 Ⅲ群】「企業経営」関連分野 4単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	経営学Ⅰ	2		経営学Ⅱ	2
	経営管理論Ⅰ	2		経営管理論Ⅱ	2
	経営組織論Ⅰ	2		経営組織論Ⅱ	2
	人的資源管理Ⅰ	2		人的資源管理Ⅱ	2
	会計学Ⅰ	2		会計学Ⅱ	2
	マーケティング論Ⅰ	2		マーケティング論Ⅱ	2
【選択科目 Ⅳ群】「現代社会」関連分野 4単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	経済学Ⅰ	2		経済学Ⅱ	2
	コミュニケーション論Ⅱ	2		ヨーロッパの生活と文化A	2
	ヨーロッパの生活と文化B	2		イギリスの生活と文化	2
	アメリカの生活と文化	2		ドイツの生活と文化	2
	フランスの生活と文化	2		中国の生活と文化	2
	労働法	2		国際関係論Ⅰ	2
	国際関係論Ⅱ	2		現代社会とジェンダー	2

④秘 書 士

a 国際秘書 仕事に取り組むために必要な一般的な知識、技能、マナーに加えて、秘書実務に関する英語などを習得していることを認められる資格。国際秘書はもちろん、国際的な職場や職種で能力を発揮できる資格です。

・必修科目7単位、選択科目各群の必要単位。（申請費用：5,000円）

【必修科目】 7単位					
チェック	授業科目	単位	チェック	授業科目	単位
	国際秘書学	2		秘書学概論	2
	秘書実務Ⅰ	1		秘書実務Ⅱ	1
	秘書コミュニケーション演習Ⅰ	1			

【選択科目Ⅰ群】「秘書実務」関連分野 4単位以上					
チェック	授業科目	単位	チェック	授業科目	単位
	基本簿記論Ⅰ	2		基本簿記論Ⅱ	2
	商法	2		ビジネス実務法規	2
	情報システム演習Ⅰ	2		情報システム演習Ⅱ	2
	情報処理演習Ⅰ	2		情報処理演習Ⅱ	2
	プレゼンテーションⅠ	2		プレゼンテーションⅡ	2
	ビジネス文書Ⅰ	2		ビジネス文書Ⅱ	2
	英文文書処理Ⅰ	1		英文文書処理Ⅱ	1
	インターンシップ	2		日本語文章法Ⅰ	2
	日本語文章法Ⅱ	2			

【選択科目Ⅱ群】「人間行動・情報」関連分野 2単位以上					
チェック	授業科目	単位	チェック	授業科目	単位
	組織心理学Ⅰ	2		組織心理学Ⅱ	2
	情報処理概論	2		情報倫理A	2
	情報システム論Ⅰ	2		情報システム論Ⅱ	2
	心理学概論	2		社会心理学	2
	人格心理学	2		感情心理学	2
	健康心理学	2		コミュニティ心理学	2

【選択科目Ⅲ群】「企業経営」関連分野 2単位以上					
チェック	授業科目	単位	チェック	授業科目	単位
	経営学Ⅰ	2		経営学Ⅱ	2
	経営管理論Ⅰ	2		経営管理論Ⅱ	2
	経営組織論Ⅰ	2		経営組織論Ⅱ	2
	人的資源管理Ⅰ	2		人的資源管理Ⅱ	2
	会計学Ⅰ	2		会計学Ⅱ	2
	マーケティング論Ⅰ	2		マーケティング論Ⅱ	2

【選択科目 IV群】「国際秘書」関連分野 5単位以上					
チェック	授業科目	単位	チェック	授業科目	単位
	秘書コミュニケーション演習Ⅱ	1		コミュニケーション論Ⅰ	2
	コミュニケーション論Ⅱ	2		国際秘書演習Ⅰ	1
	国際秘書演習Ⅱ	1			

b 秘書士 社会に出て、仕事に取り組むために必要な一般的知識、技能、マナーなどを習得していることを認められる資格。秘書に限らず、幅広い職種や職場で力を発揮できる資格です。

- ・必修科目4単位、選択科目各群の必要単位、かつ選択科目各群の合計16単位以上。(申請費用：5,000円)

【必修科目】 4単位					
チェック	授業科目	単位	チェック	授業科目	単位
	秘書学概論	2		秘書実務Ⅰ	1
	秘書実務Ⅱ	1			

【選択科目 I群】「秘書実務」関連分野 8単位以上					
チェック	授業科目	単位	チェック	授業科目	単位
	基本簿記論Ⅰ	2		基本簿記論Ⅱ	2
	商法	2		ビジネス実務法規	2
	情報システム演習Ⅰ	2		情報システム演習Ⅱ	2
	情報処理演習Ⅰ	2		情報処理演習Ⅱ	2
	コミュニケーション論Ⅰ	2		プレゼンテーションⅠ	2
	プレゼンテーションⅡ	2		国際秘書学	2
	国際秘書演習Ⅰ	1		国際秘書演習Ⅱ	1
	ビジネス文書Ⅰ	2		ビジネス文書Ⅱ	2
	英文文書処理Ⅰ	1		英文文書処理Ⅱ	1
	インターンシップ	2		日本語文章法Ⅰ	2
	日本語文章法Ⅱ	2			

【選択科目 Ⅱ群】「人間行動・情報」関連分野 2単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	組織心理学Ⅰ	2		組織心理学Ⅱ	2
	情報処理概論	2		情報倫理A	2
	情報システム論Ⅰ	2		情報システム論Ⅱ	2
	心理学概論	2		社会心理学	2
	人格心理学	2		感情心理学	2
	健康心理学	2		コミュニティ心理学	2

【選択科目 Ⅲ群】「企業経営」関連分野 2単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	経営学Ⅰ	2		経営学Ⅱ	2
	経営管理論Ⅰ	2		経営管理論Ⅱ	2
	経営組織論Ⅰ	2		経営組織論Ⅱ	2
	人的資源管理Ⅰ	2		人的資源管理Ⅱ	2
	会計学Ⅰ	2		会計学Ⅱ	2
	マーケティング論Ⅰ	2		マーケティング論Ⅱ	2

【選択科目 Ⅳ群】「現代社会」関連分野 2単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	経済学Ⅰ	2		経済学Ⅱ	2
	コミュニケーション論Ⅱ	2		ヨーロッパの生活と文化A	2
	ヨーロッパの生活と文化B	2		イギリスの生活と文化	2
	アメリカの生活と文化	2		ドイツの生活と文化	2
	フランスの生活と文化	2		中国の生活と文化	2
	労働法	2		国際関係論Ⅰ	2
	国際関係論Ⅱ	2		現代社会とジェンダー	2

⑤上級情報処理士 基礎知識・技能に加え、データベース、情報倫理といった理論から、プログラミングやシステム設計などの技能まで幅広く学んでいることが求められます。

・必修科目8単位、選択科目各群の必要単位、かつ選択科目各群の合計32単位以上。(申請費用：7,000円)

【必修科目】 8単位					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	情報処理概論	2		ビジネスと情報科学	2
	情報システム演習Ⅰ	2		情報システム演習Ⅱ	2

【選択科目Ⅰ群】「情報処理」関連分野 4単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	情報倫理A	2		情報倫理B	2
	情報システム論Ⅰ	2		情報システム論Ⅱ	2
	データベースA	2		データベースB	2
	マルチメディア演習Ⅰ	2		マルチメディア演習Ⅱ	2
	ネットワーク論A	2		ネットワーク論B	2
	コンピュータグラフィックA	2		コンピュータグラフィックB	2
	プログラミングA	2		プログラミングB	2

【選択科目Ⅱ群】「情報と職業及び実務教育」関連分野 4単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	基本簿記論Ⅰ	2		基本簿記論Ⅱ	2
	ビジネス実務法規	2		秘書実務Ⅰ	1
	秘書実務Ⅱ	1		ビジネス文書Ⅰ	2
	ビジネス文書Ⅱ	2		インターンシップ	2

【選択科目Ⅲ群】「情報と社会」関連分野 4単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	経営学Ⅰ	2		経営学Ⅱ	2
	経営管理論Ⅰ	2		経営管理論Ⅱ	2
	会計学Ⅰ	2		会計学Ⅱ	2
	ネットマーケティング論	2		経済学Ⅰ	2
	経済学Ⅱ	2			

【選択科目Ⅳ群】「情報と人間」関連分野 4単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	コミュニケーション論Ⅰ	2		コミュニケーション論Ⅱ	2
	プレゼンテーションⅠ	2		プレゼンテーションⅡ	2
	心理学概論	2		教育心理学	2

⑥情報処理士

情報処理に関する幅広い基礎知識・技能を持ち、情報処理に関する一定の科目を履修したことを認定する、情報処理の実力を表す資格です。

- ・必修科目4単位、選択科目各群の必要単位、かつ選択科目各群の合計16単位以上。(申請費用：5,000円)

【必修科目】 4単位					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	情報処理概論	2		情報システム演習Ⅰ	2

【選択科目Ⅰ群】「情報処理」関連分野 2単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	情報倫理A	2		情報倫理B	2
	情報システム論Ⅰ	2		情報システム論Ⅱ	2
	データベースA	2		データベースB	2
	情報システム演習Ⅱ	2		マルチメディア演習Ⅰ	2
	マルチメディア演習Ⅱ	2		ネットワーク論A	2
	ネットワーク論B	2		コンピュータグラフィックA	2
	コンピュータグラフィックB	2		プログラミングA	2
	プログラミングB	2			

【選択科目Ⅱ群】「情報と職業及び実務教育」関連分野 2単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	基本簿記論Ⅰ	2		基本簿記論Ⅱ	2
	ビジネス実務法規	2		ビジネスと情報科学	2
	秘書実務Ⅰ	1		秘書実務Ⅱ	1
	ビジネス文書Ⅰ	2		ビジネス文書Ⅱ	2
	インターンシップ	2			

【選択科目Ⅲ群】「情報と社会」関連分野 2単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	経営学Ⅰ	2		経営学Ⅱ	2
	経営管理論Ⅰ	2		経営管理論Ⅱ	2
	会計学Ⅰ	2		会計学Ⅱ	2
	ネットマーケティング論	2		経済学Ⅰ	2
	経済学Ⅱ	2			

【選択科目Ⅳ群】「情報と人間」関連分野 2単位以上					
チェック欄	授業科目	単位	チェック欄	授業科目	単位
	コミュニケーション論Ⅰ	2		コミュニケーション論Ⅱ	2
	プレゼンテーションⅠ	2		プレゼンテーションⅡ	2
	心理学概論	2		教育心理学	2

#### 4. 指定科目を履修することによって受験資格を得られる主な資格等

##### ① 健康運動実践指導者（養成校認定申請予定）

健康づくりを目的として作成された運動プログラムに基づき、ジョギング、エアロビック・ダンス、ストレッチング、筋力、持久カトレーニングなどの補強運動の実践指導を行なうことができると認められた者に与えられる称号です。医学的な基礎知識、運動生理学の知識なども必要ですが、それらの科目はすべて本学で開講しています。

##### ② 産業カウンセラー〈初級産業カウンセラー〉

四年制大学で心理学を専攻し必要な科目の単位を修得した学生は、卒業と同時に「産業カウンセラー試験」の受験資格が与えられます。産業カウンセラーは、心理学的手法によって、働く人たちが抱える心の問題を自らの力で解決できるように支援することが主な仕事です。

#### 5. ゼミナール等で取得を目指す資格等

資格は社会の強力なパスポートですが、各学科には資格取得に必要な授業科目が多数設定されています。これらの授業は自らの適性や価値観に基づいて、選択履修してください。資格取得は就職の際にも強力なアピールポイントになるので、本学では学生が積極的に取り組むよう指導しています。

- ・日商簿記検定
- ・パソコン技能検定Ⅱ種試験
- ・秘書技能検定
- ・実用英語技能検定
- ・実用フランス語技能検定
- ・心理学検定
- ・ビジネス文書技能検定
- ・CBS（国際秘書検定）プライマリー試験
- ・TOEIC
- ・TOEFL
- ・ドイツ語技能検定